様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第１学年 第２学年 第３学年	国語・727 国語・827 国語・927	新編　新しい国語　1 新編　新しい国語　2 新編　新しい国語　3

取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　話すこと・聞くこと 第１学年では、分かりやすく話を組み立ててスピーチをしたり、日常生活にかかわることなどについて工夫して話したりする活動、第２学年では、説得力のあるプレゼンテーションをしたり、メリットとデメリットを書き出して検討をしたりする活動、第３学年では、話し方や内容を考えてスピーチをしたり、互いの思いや考えを生かし合って討論したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　書くこと 第１学年では、材料を整理して選び構成を考えて文章を書いたり、鑑賞したことを文章にしたりする活動、第２学年では、描写を工夫して物語を書いたり、依頼の手紙を書いたりする活動、第３学年では、ポスターやロゴマークを比較し批評する文章を書いたり、集めた情報をミニ雑誌にまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　読むこと 第１学年では、風景や込められている思いを想像したり、図表などとの関連を考えながら読んだりする活動、第２学年では、展開や表現の工夫について感想を交流したり、読み比べて印象の違いについて話し合ったりする活動、第３学年では、情景や心情を想像し、よさを評価してまとめたり、同じテーマで書かれた論説文の共通点や相違点を見付けたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 第１学年では、現代語とは異なる言葉や表現に注意しながら古文を音読する活動や、単語の種別を理解する活動、第２学年では、漢詩の表現の特徴をとらえて繰り返し朗読する活動や、敬語の働きを理解する活動、第３学年では、和歌を読んで鑑賞文を書く活動や、連語・慣用句などに関する知識を広げる活動が取り上げられている。 ○　知識・技能の習得、活用、探求への対応 「言葉の力」において、第１学年では、登場人物の心情を考えたり、考えの根拠に着目したりすること、第２学年では、登場人物の言葉や行動の意味に注意したり、目的や相手に応じて要約したりすること、第３学年では、説得力を高めるための論の進め方をとらえたり、人間関係の変化に着目したりすることなど、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 第１学年では、書くための材料を整理しながら構成を考えて説明的な文章を書く活動の後に、分かりやすい構成で案内や報告の文章を書く活動を取り扱い、第２学年では、順序立てて話を組み立てる活動（第１学年）の後に、聞き手の立場や考えを想定し話を組み立てる活動（第２学年）を取り扱い、第３学年では、討論のテーマを決めてメリットとデメリットを出し合う活動（第２学年）の後に、問題を解決するために話し合う活動（第３学年）を取り扱うなど、系統的、発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 第１学年～「話すこと・聞くこと」は３教材、「書くこと」は７教材、「読むこと」は 18 教材であり、総ページ数は 328 ページで、前回より約 5%増となっている。 第２学年～「話すこと・聞くこと」は３教材、「書くこと」は７教材、「読むこと」は 17 教材であり、総ページ数は 336 ページで、前回より約 5%増となっている。 第３学年～「話すこと・聞くこと」は３教材、「書くこと」は５教材、「読むこと」は 19 教材であり、総ページ数は 336 ページで、前回より約 5%増となっている。
使用上の配慮等	○　日常生活や社会生活に生きて働く言語能力を身に付けることができるよう、「学びを支える言葉の力」を掲載したり（全学年）、読書に親しむ態度を養うことができるよう、読書教材の後に「読書案内」などを掲載したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学び方を確かめることができるよう、学習のねらいや進め方を示した「目標」「てびき」を設けたり（全学年）、見通しをもって学習することができるよう、「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の単元に「学習の流れ（例）」を設けたり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組む工夫がなされている。 ○　巻頭に授業における学習目標や学習の方法などを表した領域別学習材一覧（全学年）を示したり、巻末に練習問題を示した「基礎編」や「本編」と関連する教材からなる「資料編」を掲載したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　北海道と関連のある教材は「短歌五首」「編集して伝えよう」など６箇所取り上げられている。 ○　第１学年では、小学校で学んだ国語学習の土台となる内容を適宜確かめたり、第３学年では、論説文や古典文法を学んだりすることができるなど、小・中・高の接続を意識したつくりになっている。 ○　特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、内容や配色、デザイン、文字の大きさや書体、罫線や囲みの使い方などについての工夫がなされている。